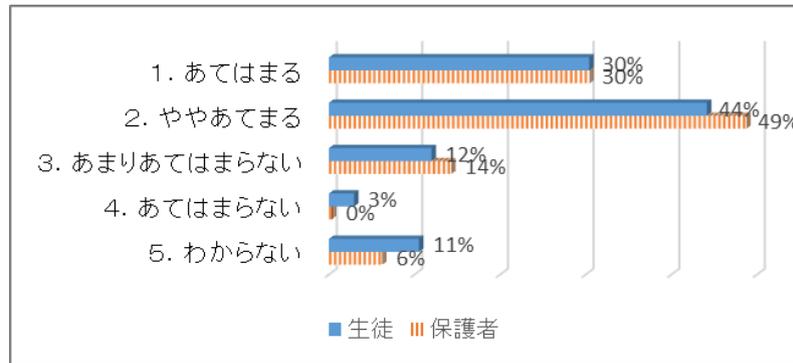


平成 30 年度学校評価アンケート集計

○ 今年度から項目を変更し、新たに生徒アンケートも実施しました。今回から保護者アンケートと生徒アンケートを掲載し、分析をおこないます。

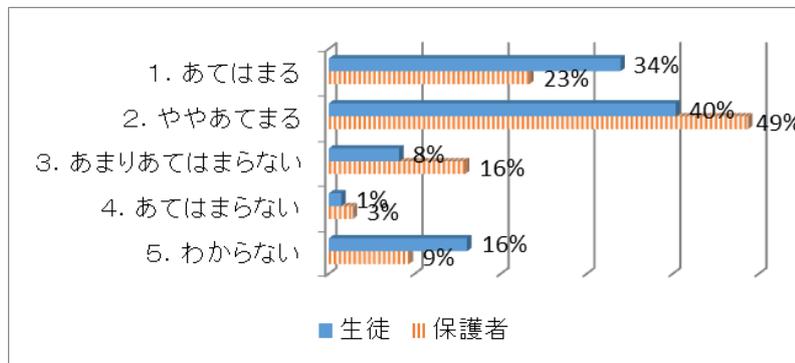
1 学校の教育方針や重点目標は分かりやすい。



教育目標や重点目標については保護者は79%、生徒は74%がわかりやすいと答えていて、概ね学校の考えを理解していただいているようである。

平均 76%

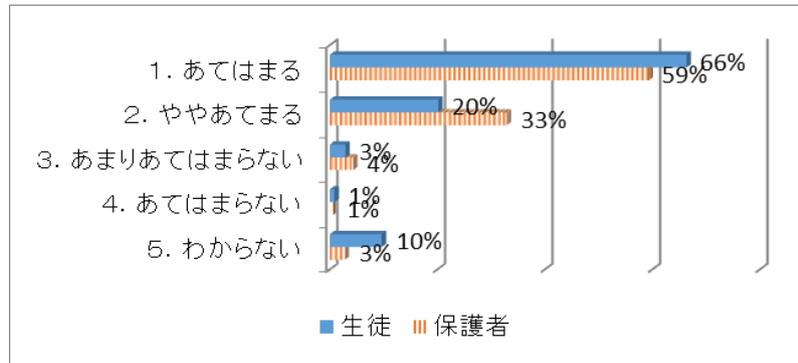
2 学校は特色ある学校づくり（小中一貫教育や数学学習熟度別少人数）に取り組んでいる。



本校の特色である小中一貫（連携）については20年近く続けられているため、保護者は72%生徒も74%理解していて、入学前から小中の取り組みについても協力的になっている。また数学の少人数授業についても少しずつ理解が高まっているようである。

平均 73%

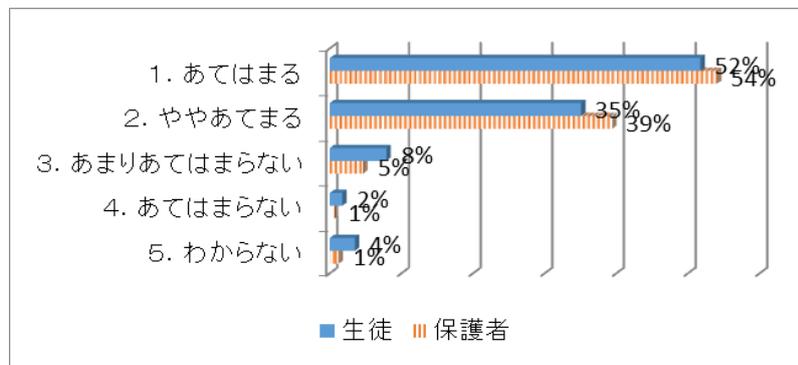
3 学校は学校だよりやホームページ、学年、学級通信などで学校の様子を知らせている。



保護者 92%、生徒は 86%と 90%近くの人たちが学年だより、学級通信、学校だより、ホームページなどを通じて、学校の様子をつかんでいることがよく分かった。

平均 89%

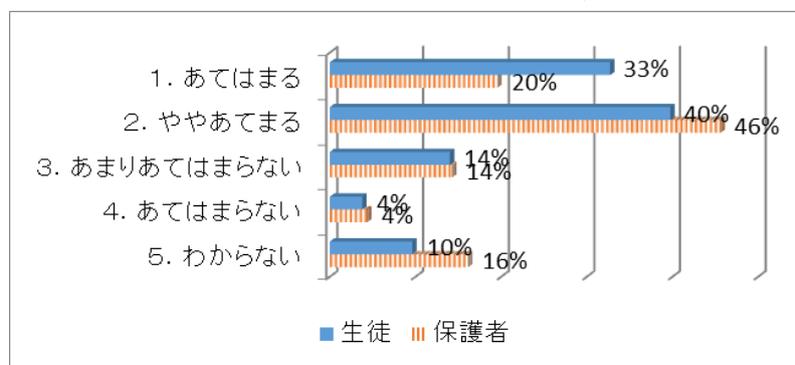
4 学校は清掃が行き届き、校内美化や生徒の安全確保に努めている。



保護者は 94%、生徒も 87%が校内の美化が確保されていると感じていて、安全面についても確保がなされていると感じているようである。

平均 90%

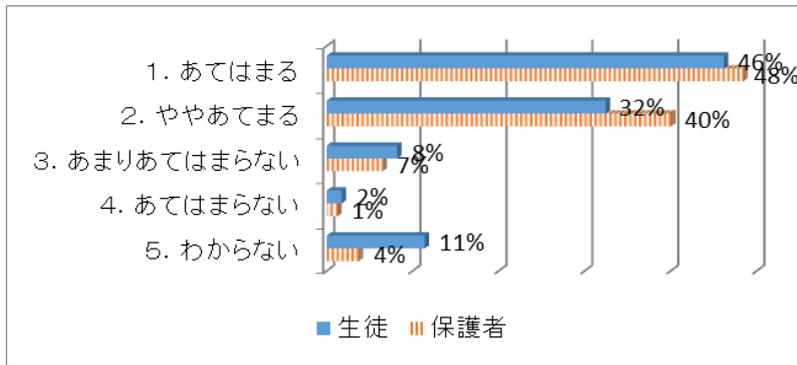
5 学校は分かる授業、学び合いのある授業等の授業改善に取り組んでいる。



保護者は 66%、生徒は 73%が分かる授業であると答えているが、他の項目と比較すると理解の割合が低く、改善の必要性が感じられる。

平均 69%

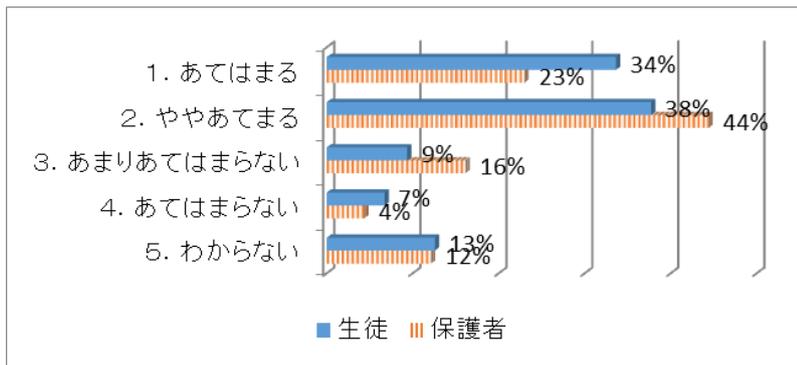
6 学校は評価・評定の規準や方法について説明している。



保護者は 88%、生徒は 78%と評価・評定については理解度に関きがあり、生徒への分かりやすい説明が必要である。

平均 83%

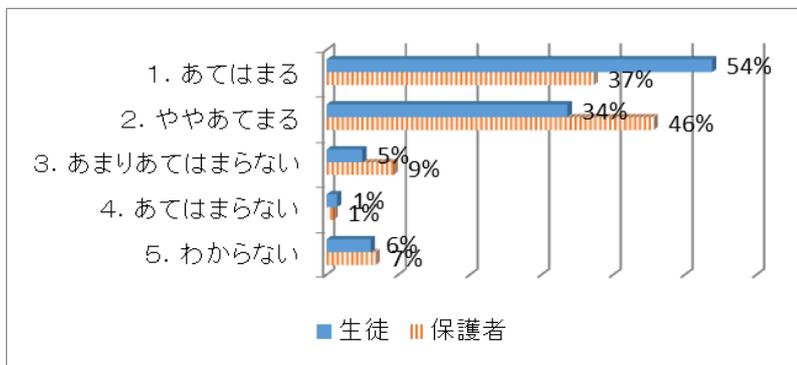
7 学校は生徒の学力を適正に評価している。



保護者は 67%、生徒は 72%が適正に評価されていると答えているが、こちらも他と比較すると理解度が低く、学力の評価についてはより明確で丁寧な説明が必要になってくるように思われる。

平均 69%

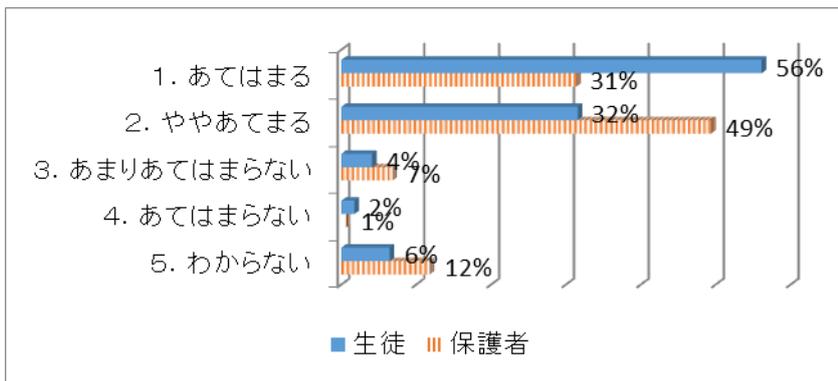
8 学校は基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。



保護者は 83%、生徒は 88%が基本的な生活習慣が身につく指導がおこなわれていると感じているようで、学校の生活習慣については保護者、生徒とも満足しているようである。

平均 85%

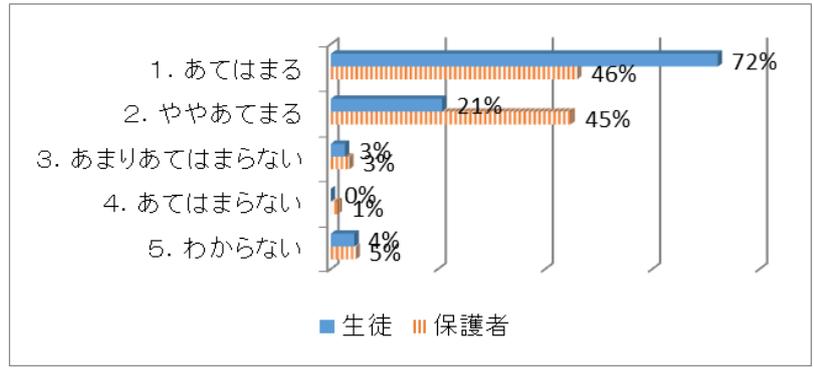
9 学校は社会生活における規範意識（やってはいけないことを思う力）を高める指導を行っている。



保護者は 80%、生徒は 88%と規範意識については感じ方に差があり、保護者からはさらに規範意識を育てる指導を望んでいるように思われる。

平均 84%

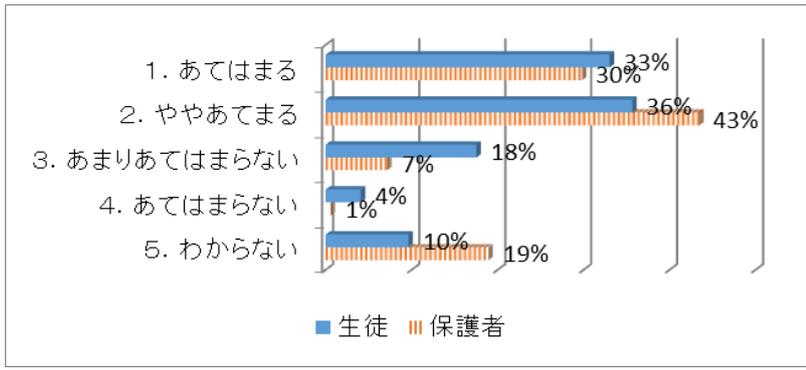
10 学校は情報モラル、SNS の適切な使用、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。



保護者、生徒とも 91%が情報モラルや薬物防止についての指導が学校で徹底されているという意識をもっていることがわかった。

平均 91%

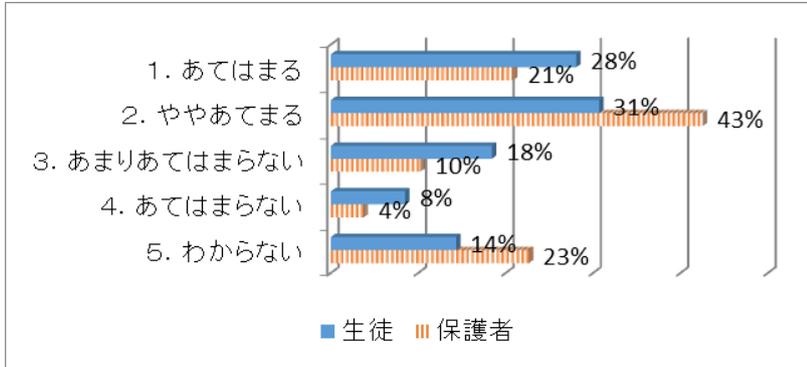
11 学校は道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。



保護者は 73%、生徒は 69%と道徳の授業に力を入れていると感じているが、他と比較すると理解度は低く、道徳の授業がおこなわれているにも関わらず、道徳の授業と総合や学活の授業の違いがわかっていない人も多いようで、道徳の授業については講演会も含めて道徳の授業であることを繰り返し伝えていくことが大切なようである。

平均 71%

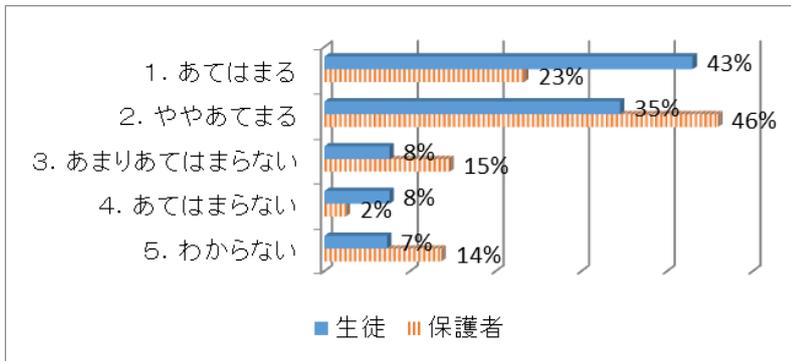
12 学校はいじめや不登校の未然防止に努めている。



保護者は 64%、生徒は 59%と他と比較しても極めて低く、いじめや不登校の未然防止については保護者、生徒とも不十分であるとの考えが多いようである。

平均 61%

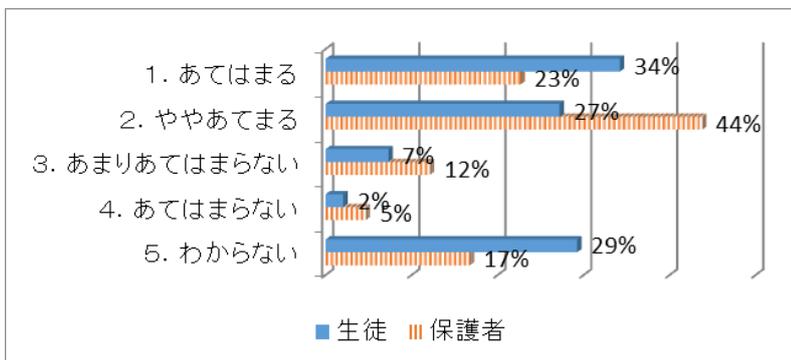
13 学校は生徒の悩みや相談に応える環境を整えている。



保護者は 69%、生徒は 78%があてはまると答えているが、保護者と生徒との意識の差が大きく、保護者は学校へ悩み相談を聞いてほしいと感じているようであるが、どうしても教員へというイメージが強く、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、スクールソーシャルワーカーなどの存在を知らないようで、こういった方々の存在や活用方法などをさらに知らせる必要があるように思われる。

平均 73%

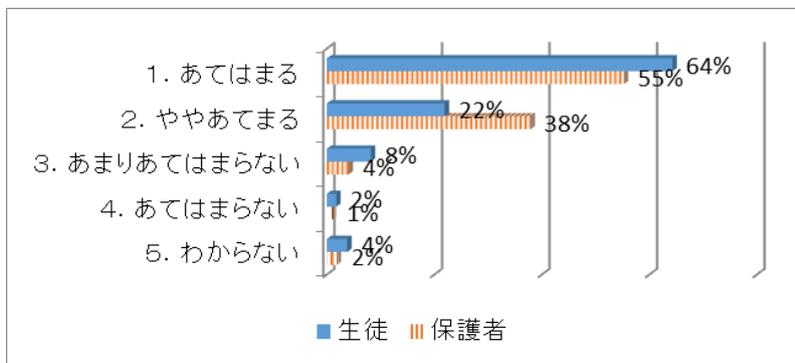
14 学校は進路の情報を提供し、適切な進路指導を行っている。



保護者は 67%、生徒は 71%が概ねあてはまると答えているが、こちらも他と比較すると理解度が低く、保護者、生徒ともさらに細かな情報を欲しているようである。ただ余り早く情報を提供してもかえって間違いや認識の違いを生みやすくして、適切な情報提供にいたらないケースもあり、やはりこちらは高校側の情報提供に合わせて慎重に進めるべきであると考えます。

平均 69%

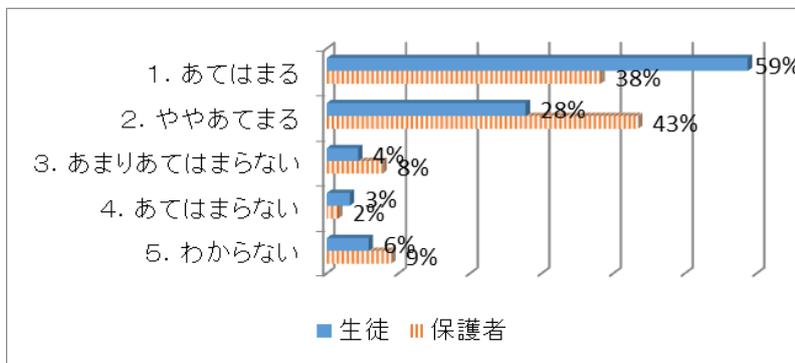
15 学校は運動会や文化発表会など、学校行事の充実を図っている。



保護者は 93%、生徒は 86%と学校行事の充実を感じていて、行事についての理解は高いようである。ただ内容については今後とも精査し、その時々々にマッチしたものを工夫、行うことが大切のように思われる。

平均 89%

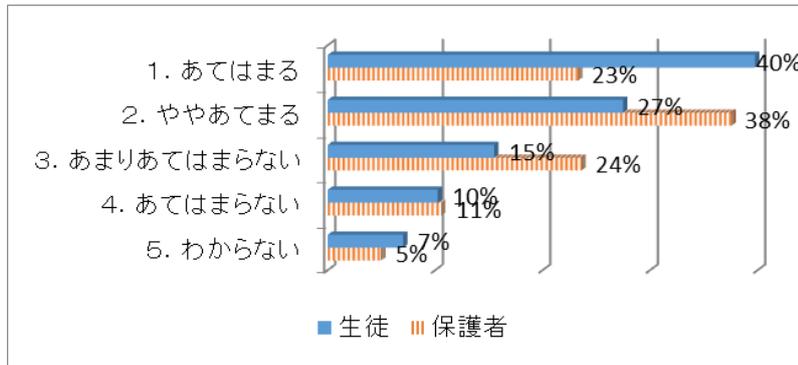
16 学校は生徒会活動や委員会活動など自主性を育てる指導を行っている。



保護者は 81%、生徒は 87%概ね満足しているようである。今後とも生徒の自主的な活動を促す指導をおこなっていききたい。

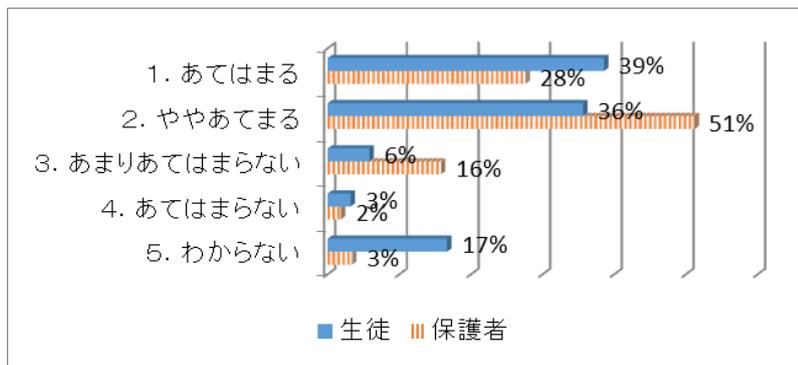
平均 84%

17 学校は部活動の充実を図っている。



保護者は 61%生徒は 67%が概ね満足しているようであるが、この数字は他と比較すると極めて低い。しかし本校の規模を考えると部活を増やすことはできず、現存する部活を維持していくことが優先されるように思う。現在の仕組みでは部活を増やすためには教員の数を増やさない限り難しく、教員の数増やすためには教員定数を変えなければならず、簡単にはできない状況である。 平均 64%

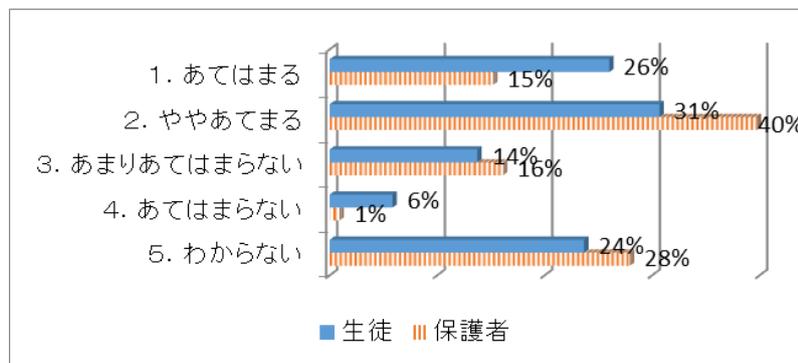
18 学校は保護者会や三者面談等を通じて家庭への連絡をきめ細かく行っている。



保護者は 79%、生徒は 75%と概ね学校との連絡はきめ細かくおこなわれていると感じている。家庭への連絡については学校だよりやホームページなども含めてきめ細かくおこなわれていると保護者、生徒とも理解しているようである。

平均 77%

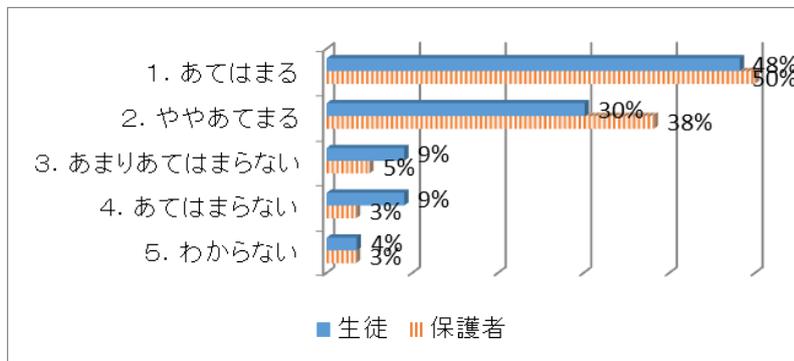
19 学校は地域の施設や人材を活用した教育活動を行っている。



保護者は 65%生徒は 57%と地域の施設利用や人材活用については理解度が低く、さらに積極的な活用が求められている。

平均 61%

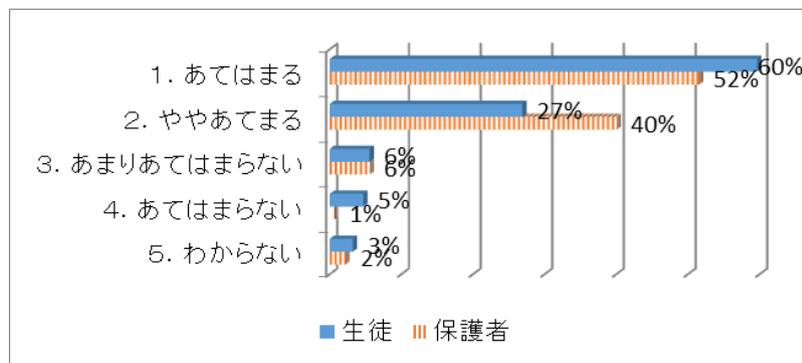
20 自分は楽しく学校に登校している。



保護者は 88%、生徒は 78%と保護者と生徒との意識の差が大きく、保護者は学校へ安心して預けている意識が高いが、生徒たちは保護者ほど高くなく、これは実際に学校生活を送っている生徒たちが学校内での人間関係に悩んでいる様子を伺わせるものになっている。

平均 83%

21 学校は安心して通うことができる。



保護者、生徒とも 90%を超えていて、学校は安心して生活できる場所と感じられているようである。

平均 94%